

平成18年5月31日

お客様各位

コンタミに関する工業会の見解について

日本フレキシブルコンテナ工業会
クロスコンテナ部会長

日本フレキシブルコンテナ工業会（会長：時田周明）のクロスコンテナ部会ではこのほど、コンタミ（異物混入）に関する工業会としての統一見解をまとめました。

これは、最近、包装・容器全般において、異物が混入して社会問題化する傾向がある中で、フレキシブルコンテナ（FC）についても一部のお客様から「コンタミを解決する良い方法はないか」－「コンタミをゼロにできないか」などの問い合わせや要望などがFCメーカーに寄せられています。これを受けて、クロス部会で審議した結果、コンタミに対しては、以下のような統一見解（ガイドライン）を作成しました。

- ①クロスコンテナの主原料であるPP及びPEが静電気を帯びやすい素材であること、加工方法が縫製（ミシン糸）であることから、原材料由来品、体毛等飛来物の付着・落下は不可避であり、完全除去の保証はできない状況にあります。
- ②このため、お客様での使用前の事前点検や、チェックを行うことが必要不可欠と考えます。
- ③お客様におかれましては、このようなクロスコンテナの特性を十分に理解していただいた中での御使用をお願い申し上げる次第です。

以上